



なかいず認定こども園

園だより冬休み号

令和7年12月19日

発表会参観ありがとうございました

今年は第一部としてすみれ組の出し物、第二部としてゆり組とたんぽぽ組の出し物をミックスしたプログラムで構成させていただきました。駐車場の確保をしながら、全ての保護者の皆様が少しでもお子さんの近くで参観できることを重要視した構成です。参観していただく時間は長くはなかったと思いますが、その分お子様が演技している姿を見やすい位置でご覧いただくことができたと考えています。今回も皆様には見学場所の移動など司会の案内にご協力いただきましてありがとうございました。



個人の差はあったと思いますが、年齢に応じて成長が分かる発表になったと確信しています。どの子も着実に成長している様子をご覧いただくことができた、職員一同ほっとしているところです。また今年も、発表会後に家庭でご家族の方から褒められたことをうれしそうに担任に話す子どもたちがたくさんいました。しかも、具体的な場面を伝えながら「〇〇の場面で、大きな声で言えてすごかったね。」などと褒めてもらったという声も子どもたちから聞き、皆様のご協力に感謝すると共に、成功経験として子どもたちの

非認知能力の育成にもつながっていった意義深い発表会になったとほっとしているところです。

2学期の本園の活動にご協力ありがとうございました

教育部の子どもたちはいよいよ冬休みに入りました。保育部も例年に比べて長いお休みがあります。大人でさえ、年末年始は食事や睡眠時間が不規則になりがちです。ご家庭での生活支援をよろしくお願いいたします。「早寝、早起き、朝ごはん」を大切に、家族でゆったりと過ごして、新年を迎えてください。



年末年始を含む冬休みには、日本の

の伝統文化や家族の絆を深めるための行事が次々と実施されます。大晦日やお正月は伝統文化にふれる良い機会となるでしょう。毎年お願いしていることではありますが、カルタや、しりとり遊びは、家族で手軽にできる素晴らしい遊びです。このような遊びを通して、社会的ルールの基礎や人との繋がり基礎を学んでいきます。さらに勝ったり負けたりすることを通して、自分の感情をコントロールする方法も

経験していきます。しりとり遊びでは言葉に興味をもつとともに、語彙力も少しずつ身につけていきます。子どもたちは、このような遊びを通して学びの基礎を身につけていくのです。



お知らせ

12月28日(日)～1月4日(日)は、年末年始休園となります。この期間は、園施設に職員は出勤しません。事故報告など緊急な連絡事項や感染症罹患報告などがありましたら、以下の場所に連絡をお願いいたします。

その際、折り返しの連絡が必要な場合には、園児名、保護者氏名とともに連絡先の電話番号をお知らせください。(緊急でない場合には1月5日に担任から折り返します)

伊豆中央ケアセンター 0558-72-8111

1月の主な予定

5日(月) 保育開始	16日(金) 交通安全教室
7日(水) 教育部始業式(11時降園)	19日(月) 英語教室
8日(木) フッ化物塗布 【乳児・すみれ組の希望者】	22日(木) 個人面談①
9日(金) 発育測定	23日(金) 個人面談②
13日(火) 運動遊び(年中)	26日(月) 個人面談③ 音楽遊び
14日(水) 支援Cイベント	27日(火) 個人面談④ 運動遊び(年少)
15日(木) 避難訓練	28日(水) 個人面談⑤
	29日(木) こ小交流会(年長)

12月には、発表会だけでなく様々な体験を行いました。一つ一つの体験が、子どもたちの感性を磨き物事の見方や考えを深めるきっかけとなっています。

8日にはたんぽぽ組とゆり組がシニアクラブの皆さんに手伝ってもらいながら花育教室を行いました。今年はアリッサム、パンジー、金魚草の寄せ植えでしたが、たんぽぽ組は、卒園式の会場を飾るため、ゆり組は来年の新しい友だちを気持ちよく迎えるために育てていきます。今年も園舎前で育てていますので、送迎の際などにお子さんと一緒に花に声をかけてあげてください。



たんぽぽ組は9日に、中伊豆小学校の一年生との交流会として招かれて「中小フェス」のプレオープンのお店を楽しんでしました。一つ先輩で、よく知った本園の卒園生でもある一年生が心を込めて案内してくれました。この交流が小学校を身近に感じる一歩になり、就学への不安感を薄くすることに繋がっていくと思います。また、一年後に自分たちが案内する役になるとき、この日のことを思い出すはずです。

園の畑の秋冬野菜も幼児組の学年ごとに順次収穫をしています。自分の顔より大きなサニーレタスやロメインレタスを収穫したのはゆり組の子どもたちです。早速、家庭へ持ち帰って家族で味わいました。保護者の皆様からも、「野菜は苦手だけど、自分で育てて収穫した野菜は食べることができました。」「〇〇でおいしくいただきました。」などうれしい食育レポートがたくさん届きました。ご協力ありがとうございました。



15日には「足湯体験」が実施されました。前日の風も収まり、暖かな日差しの中で実施することができました。0～2歳児は温泉が入ったタライに手を入れて、久しぶりの水遊び。手先だけではありましたが、温かいお湯に参加した全員がうれしそうに感触を楽しんでいました。中には、はしゃぎすぎて服までびしょびしょに濡れてしまった子どももいました。3歳児は足を入れて「足湯」を楽しみましたが、危険防止のためにプールではなく、タライを利用しました。



4～5歳児は、誠商事の皆様が用意してくださった簡易プール一杯に入った温泉に足を入れながら、ベンチに座って暫く「足湯」を堪能しました。その間、温泉と家庭のお風呂のお湯との違いや、入浴するのにちょうど良い温度、体の温まり方などの話題も出て温泉についての知識がちょっと増えました。年齢に応じてそれぞれの楽しみ方で温泉と積極的に関わっている子どもたちの姿を見て、「この園の子どもたちはすごいねえ」と誠商事の皆さんも目を細めてその主体的な活動ぶりに驚いていました。

